

石清水

2013年 Vol.36

2013年7月、増築棟完成!

設備を新たに整えて、
より一層地域の医療に貢献します。
新しくなった八幡中央病院に
ご期待ください。



八幡中央病院 増築棟が完成しました!

八幡中央病院では、昨年より工事を開始し、患者さまをはじめ皆さまにご迷惑をおかけいたしておりました増築棟が完成いたしました。

地域の医療において、よりよい療養環境の提供やリハビリーション室の充実を図るべく今回の増築となりましたが、診察室や検査室等のさらなる環境向上を目指し既存建物の改築を平成25年12月末まで予定しております。

何卒ご理解ご協力くださいま



医聖会理念

患者さまと病院職員は、心の通い合う医療を通じて、お互いの信頼のもとで、ともに手をたずさえて病気の克服に努めます。

基本方針

- ◎私たちは安全管理および、患者さまのプライバシー保護に最大の努力を払い、患者さまが安心と満足の得られる質の高い医療を提供します。
- ◎私たちは患者さまの意見・立場を大切にし、説明と理解、同意に基づいた信頼される医療を提供します。
- ◎私たちは地域の人々および、医療機関との緊密な連携を図り、より良い医療を提供します。
- ◎私たちは常に知識と技術の研鑽に努め、高い倫理観を持ち、互いの人格を尊重し、チーム医療の向上と働きがいのある職場づくりを志向します。

医療法人 社団 医聖会

つらい腰痛でお困りではありませんか?

つらい腰痛症状を引き起こす原因と考えられる腰椎椎間板ヘルニア。

その傾向がないかのチェックと内視鏡を用いたヘルニアを摘出する手術法をご紹介します。

内視鏡視下

腰椎椎間板ヘルニア 摘出術(MED法)

MED法のメリット

- ① 傷口が小さい(小規模な切開)
- ② 手術時間が短く、入院期間も短い(手術時間約1時間、入院期間約1週間)
- ③ 早期に社会復帰(日常生活・仕事等)



従来、腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症など、神経が圧迫されて症状が出ると手術で大きく切開をして脊椎から筋肉を剥離し、神経に対する圧迫を取り除いていました。しかし、患者さまの負担も大きく、術後退院までの期間も長期間要していました。内視鏡視下腰椎椎間板ヘルニア摘出術(MED法)は、1.5cmほど切開して腰椎の周囲の筋肉に管を入れて、筋肉をはがすことなく神経を確認してヘルニアを摘出する方法です。疾患にお悩みの方は、一度担当医にご相談下さい。

今号の特集

知っておこう 糖尿病のコントロール

詳しくは中面へ

メオ
ライム
医療で
いまさら聞けない!?

糖尿病

をコントロール

お知らせ 風疹の 予防接種を しましょう!

全国的に風疹が流行する中、妊娠中にかかると胎児に心疾患などが出る可能性があるため、予防接種による予防が重要となります。ワクチン接種に対して自治体が助成を行っているところが多く、助成対象や補助額は自治体により異なりますが、妊娠を希望する19歳以上の女性や妊婦の配偶者などが対象になります。助成対象や補助額について詳しくはお住まいの自治体までお問い合わせ下さい。ワクチン接種については、現在ワクチンが品薄で入手困難となっておりますので詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

八幡中央病院／京都八幡病院／学研都市病院／百万遍クリニック

医聖会グループ 地域の医療・介護・福祉をトータルサポート

八幡中央病院

〒614-8071
京都府八幡市八幡五反田39-1
TEL 075-983-0119(代)
FAX 075-983-0310

京都八幡病院

人工透析センター、
健診センター
〒614-8114
京都府八幡市川口別所61
TEL 075-971-2001(代)
FAX 075-983-0185

学研都市病院

人工透析センター、
脊椎・骨盤センター
〒606-8225
京都府京都市左京区田中門前町103-5
京都バートル研究所ビルF
TEL 075-981-8202
FAX 075-705-0025

百万遍クリニック

〒606-8225
京都府京都市左京区田中門前町103-5
京都バートル研究所ビルF
TEL 075-981-8202
FAX 075-705-0025

介護老人保健施設 石清水

〒614-8114
京都府八幡市川口別所66
TEL 075-972-2111(代)
FAX 075-971-2003

介護老人保健施設 とちのき

〒619-0238
京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1
TEL 0774-98-2600
FAX 0774-98-2601

介護老人保健施設 梨の里

〒614-8036
京都府八幡市八幡柿木内25-1
TEL 075-982-0125
FAX 075-982-0208

社会福祉法人 京都山城福社会 特別養護老人ホーム ゆりのき

〒619-0225
京都府宇治市木津川台1丁目19番1
TEL 0774-75-1132
FAX 0774-75-1134

真鍼整形外科医院

〒573-1115 大阪府枚方市東橋2-149-7
TEL 072-867-5551 FAX 072-867-5551

八幡市乳幼児健康支援デイサービス たんぽぽ

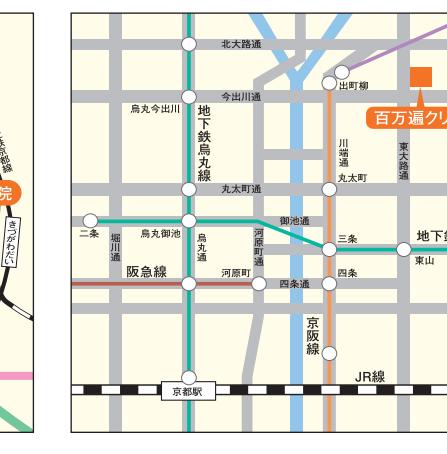
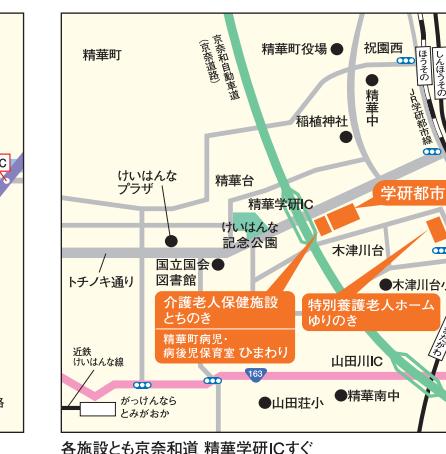
〒614-8111 京都府八幡市川口小西9-2小西内
TEL 0774-93-1226 FAX 075-981-7006

精華町病院・病後児保育室 ひまわり

〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1
TEL 0774-93-1226 FAX 075-981-7006

各病院の詳しい内容は ホームページを参照して下さい

医聖会ホームページ▶ www.iseikai.jp



いまさら聞けない!? 知っておこう

糖尿病のこと

A 糖尿病の初期には、はつきりした自覚症状はありません。のどが渴く、尿の量・回数が増えた、体が急激に減った、目がかすむ、疲れやすいなどの症状が一つでもあれば医師にご相談下さい。

A すい臓から分泌されるインスリンの働きが弱いため、筋肉などの細胞がブドウ糖を取り込みにくくなり、慢性的に高血糖が続く状態の病気です。日本人の糖尿病患者の95%がこのタイプです。

Q どんな症状が出たら病院へ行けばいいの?



A 糖尿病の大半を占める2型糖尿病の発症原因には、大きく遺伝因子が影響しています。ご家族に糖尿病患者の方がおられ、気になる方は医師にご相談下さい。

Q 糖尿病患者の方って多いの?

A 予備軍を含めると、男性の3人に1人、女性の4人に1人と推定されています。

Q 糖尿病は遺伝しますか?

いまさら聞けないような糖尿病のことについて、中井医師にQ&A形式でお聞きしました。



**「細小血管障害」と「動脈硬化症」糖尿病は血管を障害する。
早期の治療が重要**

糖尿病の初期には、はつきりとした症状がないため、治療が必要な人の4割が未治療で、その翌年からインスリノ注射が始まり、多くの命が救われました。糖尿病は古くて新しい薬が開発され、この20年の間に治療法は年々進歩してきました。そういう意味で、わざときたのは更に遅く1957年のことです。そして1993年以降、次々と新しい薬が開発され、この20年の間に治療法は年々進歩してきました。そういう意味において、糖尿病は古くて新しい病気と言えます。

糖尿病は紀元前1500年頃、エジプトのパピルスにも記述のあるような古い病気ですが、病気の原因が脾臓にあること分かったのは1889年のことです。また血糖を下げる物質、すなわちインスリノが、病気の原因が脾臓であることが発見されたのが1921年で、その翌年からインスリノ注射が始まり、多くの命が救われました。糖尿病の飲み薬が開発され、この20年の間に治療法は年々進歩してきました。そういう意味で、わざときたのは更に遅く1957年のことです。そして1993年以降、次々と新しい薬が開発され、この20年の間に治療法は年々進歩してきました。そういう意味において、糖尿病は古くて新しい病気と言えます。

のまままでいます。糖尿病で怖いのは何と言つても合併症ですが、治療を放置していると眼・腎臓・神経などの細小血管合併症が知らない間に進行し、いきなり失明したり透析が必要になたりする場合もあります。また糖尿病の合併症の動脈硬化が原因で心筋梗塞や脳梗塞を起こして初めて糖尿病があると分かる場合もよくあります。これらは直接生命に影響するだけにより深刻です。細小血管障害は血糖コントロールによつて確実に防ぐことはできませんでした。しかし2008年、糖尿病の発症初期にしっかりと血糖コントロールを行つておけば、20年後の心筋梗塞や脳梗塞の発症率は低く抑えられていることが分かりました。よつて、糖尿病の治療においては「早期に厳格な血糖コントロールを行うこと」の重要性が明らかになりました。

一人ひとりの病歴に合わせたオーダーメイド治療を提供

糖尿病は血糖値が高いという点では誰にとっても共通ですが、肥満の人もおれば痩せた人もおり、インスリノン分泌が残っている人もおれば残っていない人も、また発症したばかりの人もおれば既に色々な合併症で悩んでいる人がいるかもしれません。2008年、病歴が長く合併症の進んだ人に對し、極めて厳格な血糖コントロールを行つたところ、予想に反して、多くの人が死亡するという恐ろしい臨床報告がなされました。無理に血糖を下げ過ぎたため、重篤な低血糖や体重増加を来たし、そのことが逆に命を縮めたのではないかと言われています。この報告から年齢や罹病期間、合併症の有無などを無視して一律に血糖コントロールを行うことは危険だということが分かりました。こうして2013年6月1

日、血糖コントロールの目標値は年齢や罹病期間、合併症の状況等を考慮して下図のように3通りの目標設定をしていくこととなりました。一般的には合併症予防の目標とし、低血糖の心配のない場合は6%未満、またリスクの高い人に対しては8%未満が目標となります。



さて、糖尿病治療の基本は食事療法や運動療法です。栄養士やリハビリの知識が必要です。また足の病変やインスリノの指導などには看護師、薬剤師の技術が必要です。当院ではチームでもつて、患者さま一人ひとりの個性に合わせたオーダーメイドの糖尿病治療を目指しています。どうぞ、気軽にお早目に、ご相談ください。

医聖会グループは地域に根ざした医療機関です。ご質問・ご相談はお気軽にどうぞ!

事前に防ごう! 「熱中症」

熱中症予防と、発症時の対応について

熱中症は、高温の環境下で発症する障害の総称です。症状は軽度の場合、めまい、立ちくらみ、筋肉痛、こむら返りなど起ります。中等度の症状は頭痛や嘔吐、倦怠感などで、さらに重度になると高体温となり、痙攣、意識障害など危険な状態になります。予防対策としては、①のどが渇く前から水分補給。②汗をかいたら塩分も補給。③風通しのない部屋ではクーラーをつける。④小児や高齢者には十分な配慮。⑤スポーツ活動は個人の体調を第一に考える、など挙げられます。熱中症が疑われる時には、①涼しいところへ移動。②服を脱がせて、水や氷嚢で体を冷やす。③冷たい水分を与える。④中等度～重度の場合は救急搬送。全身に水をかけるなど冷却処置を開始し、救急車を要請して下さい。



平成4年3月
三重大学医学部 卒業
平成4年6月
京都大学医学部付属病院小児科 勤務
平成5年6月
福井赤十字病院小児科 勤務
平成14年4月
京都大学大学院医学研究科
平成18年4月
学研都市病院小児科 勤務
日本小児科学会認定医
日本小児科学会小児科専門医
日本臨床心理士
資格
略歴
外来担当医
月曜日～土曜日(但し第1土曜日のみ)

体液を補う水「経口補水液」に注目!

「かくれ脱水」が進行してカラダが重くなったり、大量の汗をかいだりしたときは、カラダが失った体液を補う水、経口補水液で脱水状態を改善する方法が注目されています。

経口補水療法(ORT:Oral Rehydration Therapy)は脱水症状のとき注射や点滴ではなくその成分とよく似た、水に塩分などの電解質と糖とがバランスよく配合された経口補水液(ORS:Oral Rehydration Solution)を口から摂取して回復させる療法です。脱水症とは「カラダから水分が失われるだけでなく、電解質も同時に失われている」状態ですから、経口補水液はいわばカラダが失った体液を、飲んで補う水ということ。専門の技術や器具を必要としないで、ドラッグストアで気軽に買え、家族で作ることもできる「いのちの水」です。



昭和55年3月 京都府立医科大学医学部卒業
昭和55年4月 京都府立医科大学付属病院研修医
昭和57年4月 松下記念病院勤務
昭和58年4月 京都第二赤十字病院勤務
昭和59年4月 京都府立医科大学付属病院修練医
昭和62年4月 綾部保健所 所長
平成元年5月 西陣病院勤務
平成14年4月 京都八幡病院勤務(平成21年4月より院長)
資格
日本内科学会認定医
日本糖尿病学会専門医
学研都市病院 小児科 渡部 基信 医師
外来担当医
月曜日～土曜日(但し第1土曜日のみ)

糖尿病の検査とは?

糖尿病の合併症には「網膜症」や「心筋梗塞」などがあります。これらを予防するために、血糖コントロールがとても重要になります。定期的にHbA1cを測定し、先生と相談し状況に合った数値を目標に治療しましょう。

コントロール目標		運用予定の血糖コントロール目標	
目標	血糖正常化を目指す際の目標	合併症予防のための目標	治療強化が困難な際の目標
HbA1c(%) (ヘモグロビン・エイソンシ)	6.0未満	7.0未満	8.0未満

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して個別に設定する。



(出典:2013年5月16日付け
日本糖尿病学会プレスリース)

注1 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。注2 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値は空腹時血糖値130mg/dL未満、食後2時間血糖値180mg/dL未満をおよそその目安とする。注3 低血糖などの副作用。その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。注4いずれも成人に対する目標値である。また妊娠例は除くものとする。

糖尿病

オーダーメイドのチーム医療で糖尿病をコントロール

いまや成人の27%が糖尿病またはその予備軍で、その4割の人は未治療といいます。(厚生労働省データ)

糖尿病ともいわれる糖尿病を、どうコントロールしていくべきよいのでしょうか。

糖尿病専門医で、京都八幡病院院長の中井雅彦医師に、最新情報を交えてお話をいただきました。